

あなた知ってる？！

バマのメリーさん



出演
永登元次郎
五大路子
杉山義法
清水節子
広岡敏一
団鬼六
山崎洋子
大野慶人
福寿祁久雄
松葉好市
他

企画・制作
人人フィルム

プロデューサー
白尾一博
片岡希

撮影
中澤健介
山本直史

編集
白尾一博

MA
濱田豊
Prestage
写真
森日出夫
音楽
Since
(コモエスタ八重樫+福原まり)

テーマ曲
「伊勢佐木町ブルース」
(歌・渚ようこ)

宣伝美術
鈴木一誌

イラスト
宇野重喜良

提供
レントラックジャパン
ナインエンタテインメント

配給
ナインエンタテインメント

配給協力・宣伝
アルゴピクチャーズ

監督
中村高寛

ヨコハマメリー



人生の深みと温かさが、心をゆるがす感動の物語。

ヨコハマメリー

かつて、ひとりの娼婦がいた
彼女の名前は“ハマのメリー”

歌舞伎役者のように顔を白く塗り、貴族のようなドレスに身を包んだ老婆が、ひっそりと横浜の街角に立っていた。本名も年齢すらも明かさず、戦後50年間、娼婦としての生き方を貫いたひとりの女。かつて絶世の美人娼婦として名を馳せた、その人の気品ある立ち振る舞いは、いつしか横浜の街の風景の一部ともなっていた。“ハマのメリーさん”人々は彼女をそう呼んだ。

街から消えた伝説の女

1995年冬、メリーさんが忽然と姿を消した。自分からは何も語ろうとしなかった彼女を置き去りにして、膨らんでいく噂話。いつのまにかメリーさんは都市伝説のヒロインとなっていた。そんなメリーさんを温かく見守り続けていた人達もいた。病に侵され、余命いくばくもないジャンソン歌手・永登元次郎さんもその一人。消えてしまったメリーさんとの思い出を語るうちに、元次郎さんはあるひとつの思いを募らせていく。もう一度、メリーさんに会いたい。そして、彼女の前で歌いたい……。

監督は本作がデビューとなる、若干30歳の中村高寛。メリーさんが消えた後、彼はその影を追うように、様々な人々へのインタビューを始めた。そうして、メリーさんを通して見えてきたものは、市井の普遍的な人の営み、感情、人生の機微であった。撮影開始から5年の歳月をかけ、地元・横浜への親しみが込められた、清々しい感動に溢れる作品を作り上げた。2005年度の湯布院映画祭では、ドキュメンタリーでありながら、多くの観客から喝采を受けた。

出演……………永登元次郎、五大路子、杉山義法、清水節子、岡岡敬一、団鬼六、山崎洋子、大野慶人、福寿祁久雄、松葉好市、森日出夫 他

企画・制作……………人人フィルム
プロデューサー……………白尾一博、片岡希
撮影……………中澤健介、山本直史
編集……………白尾一博
MA……………濱田豊、prestage
音響効果……………斎木琢磨
音楽……………Since (コモエスタ八重樫 + 福原まり)
テーマ曲……………「伊勢佐木町ブルース」 主題歌 渚ようこ
写真……………森日出夫
宣伝美術……………鈴木一誌
イラスト……………宇野亜喜良
監督・構成……………中村高寛

提供……………レントラックジャパン/ナインエンタテインメント
配給……………ナインエンタテインメント
配給協力・宣伝……………アルゴ・ピクチャーズ
(2005/カラー/スタンダード/1時間32分)

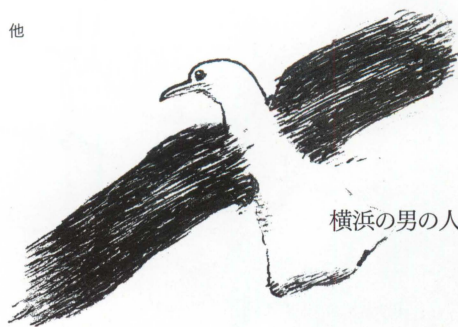


私も様々な娼婦の歌を歌っている。
〈メリー〉という女。そして〈娼婦〉。
一人の男をひたすら愛し、待ち続けた〈女〉。
様々な心の葛藤があったに違いない。
そこには娼婦でありながら、
ひたすら〈平凡〉に生きようとしていた女を、私は感じる。
娼婦という偏見の中で、美を愛し、
芸術的なものに興味を持っていたメリーを
知っている人は少ないだろう。
この作品の中にも登場する今は亡き元次郎さん…
たった一度、彼の店の、紫色のピアノに寄りかかって
歌った日を、今でも思い出す。
その元次郎さんとメリーさんとの二人の心の交流というのは、
誰にも分からない。

多分それは、二人が共通に持つ
愛と哀しみだったのではないだろうか。

戸川 昌子(推理小説家・歌手)

きんきらに輝いているのね、
きんきらさんでしたよ
大野 慶人(舞踏家)



横浜の男の人がメリーさんに声をかけられるって言うのは、
非常に光栄な事なんだそうです
大久保 文香(野毛大道芸マネージャー)

何であの人は、凛とした眼差しをもっているの？
何であんなに背骨は曲っていても、胸を張っているの？

五大 路子(女優)

Q-A X シネマ

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 Q-AXビル

TEL 03-3464-6277 <http://www.q-ax.com/>